

平成30年2月6日

各保護者様

尼崎市立上坂部小学校

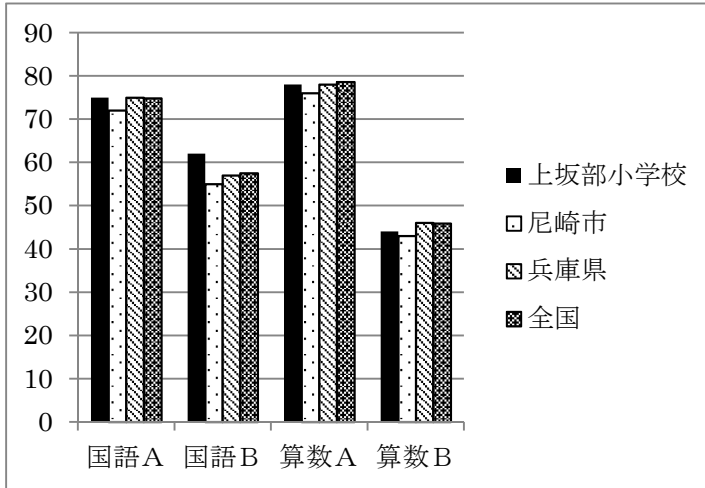
校長 増田 吉英

学力調査の結果について

立春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の学校教育の推進にご理解とご尽力賜り、厚くお礼申し上げます

6年生の全国学力・学習状況調査の結果について、お知らせします。



6年生が行った全国学力調査の結果です。

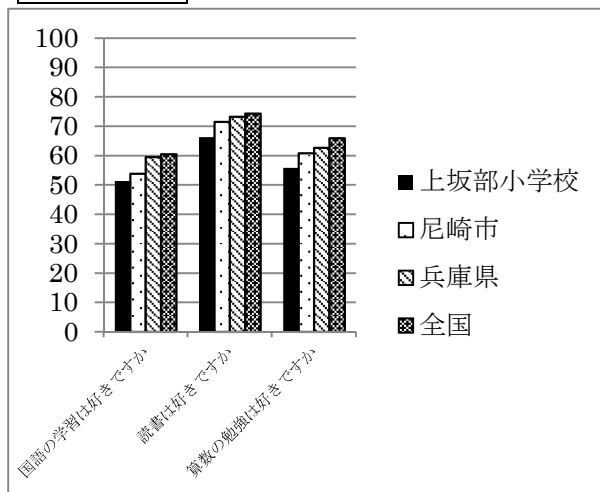
(Aは知識 Bは活用を表しています。)

学力調査の結果、グラフで見ただけでわかるように本校の児童の国語Aと算数Aが全国とほとんど同じです。国語Bは、全国よりも高く、算数Bが若干低いことがわかります。数値で見えていくと国語Aは全国に比べて、0.2ポイント高くなっています。国語Bにおいては、4.5ポイント上回っています。算数Aにおいては、0.6ポイント全国より低

く、算数Bにおいては、1.9ポイント下回る結果となりました。

それぞれ国語Aの正答率が高い観点を見ていると、「話す・聞く」の観点で5.1ポイント高くなっています。国語B問題においては、すべてにおいて上回っていて、本校の授業研究で実践してきた「話す・聞く力」や「読む力」を培ってきた力が身につけてきた結果ではないかと考えられます。算数Aにおいては、領域ごとに見てみると「数と計算」「量と測定」においては若干上回っていますが、「図形」が2.3ポイント、「数量関係（グラフや比例など）」が4.2ポイント低く、また、算数Bにおいてはどの領域も1～2ポイントほど下回っていて、応用問題や活用問題において課題があるといえます。

学習への意欲（「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」を合わせた割合を表したものです。）



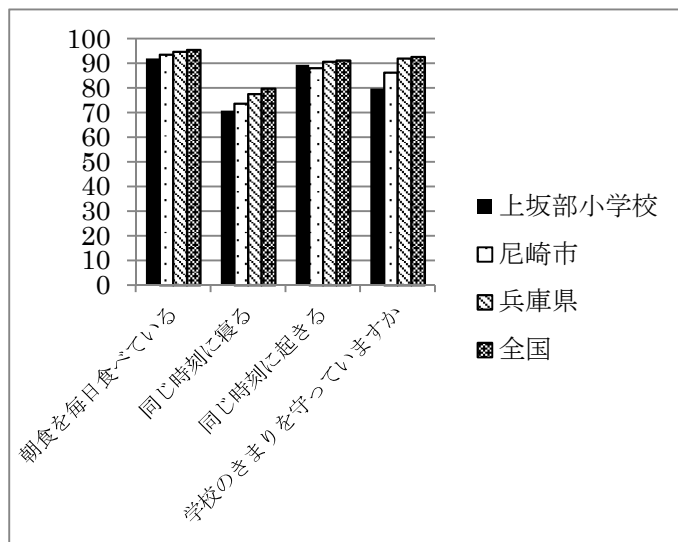
学習が好きかどうかについては全国に比べて国語については8.7ポイント、読書については8ポイント、算数については10.1ポイント低い結果となりました。学習に対する意欲は全体的に低いことから学習への取り組みを高めていく工夫が必要であるといえます。児童自らが主体的に取り組んだり、話し合いを取り入れたりすることで学習に向かう態度を育成していかなければならないと考え

ています。さらに魅力的な授業を実践していくことが求められています。また、読書においては、国語の学習の中で、読書の面白さを伝えられるような取り組みやレッツトライの朝読書の時間を充実させ、読書する時間を確保していかなければならないと考えています。

<生活実態調査について>

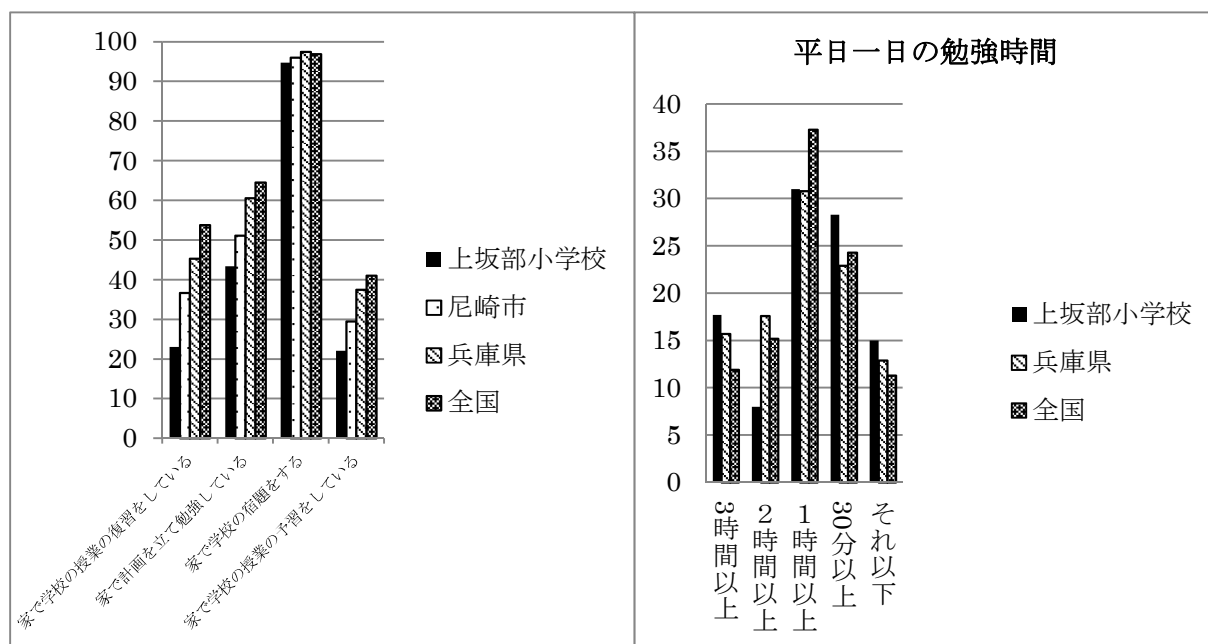
学力調査と同時に行った生活実態調査のアンケートです。

生活習慣・きまりについて（「ほぼ毎日」・「少し〜」を合わせた%の表示を表したものです。）



「生活習慣・きまり」についてみていくと、朝食、起床と就寝する時間が一定である児童も多いですが、生活リズムが一定でない児童において全国と少し差が見られます。また学校でのきまりを守ることに対しては若干低いといえます。朝ごはんを食べることや生活リズムが学力に与える影響も多いと言われています。身につけていきたいと考えています。

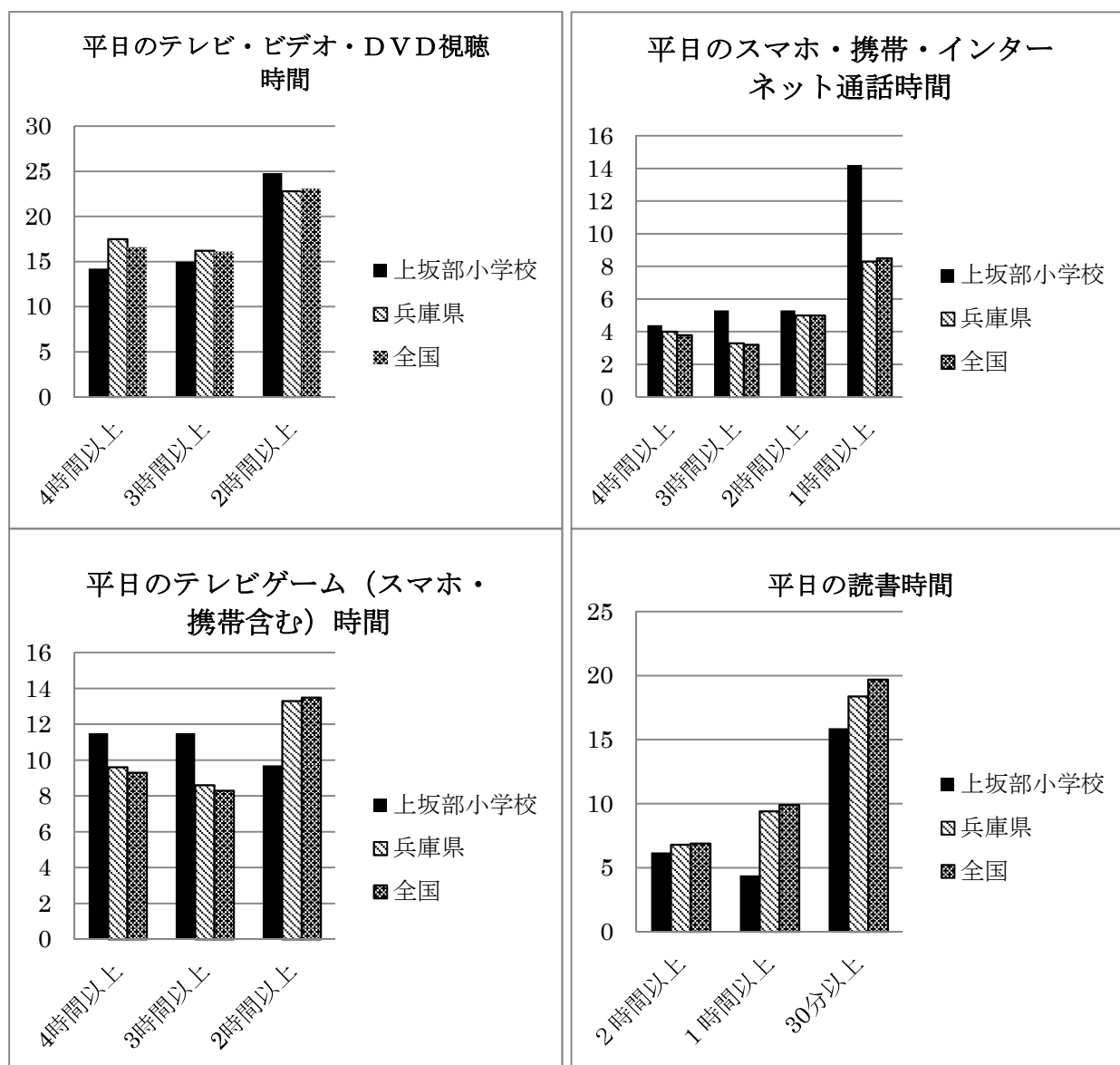
家庭学習について



家庭での学習については、学校から出された宿題をしたり、予習や復習をしたりする割合が低く、計画を立てて学習する習慣が身につけている児童が全国に比べて少ないと言えます。

また、一日の勉強時間においては、二極化が見られ、3時間以上する児童は全国よりも多いのですが2時間や1時間以上する児童は少ないと言え、勉強をする児童としない児童がはっきり分かれている結果と言えます。家庭学習において、本校で取り組んでいる自主学習や学習計画をさらに進め、主体的に家庭で学習する態度を養っていけるようにしていきたいと思っています。

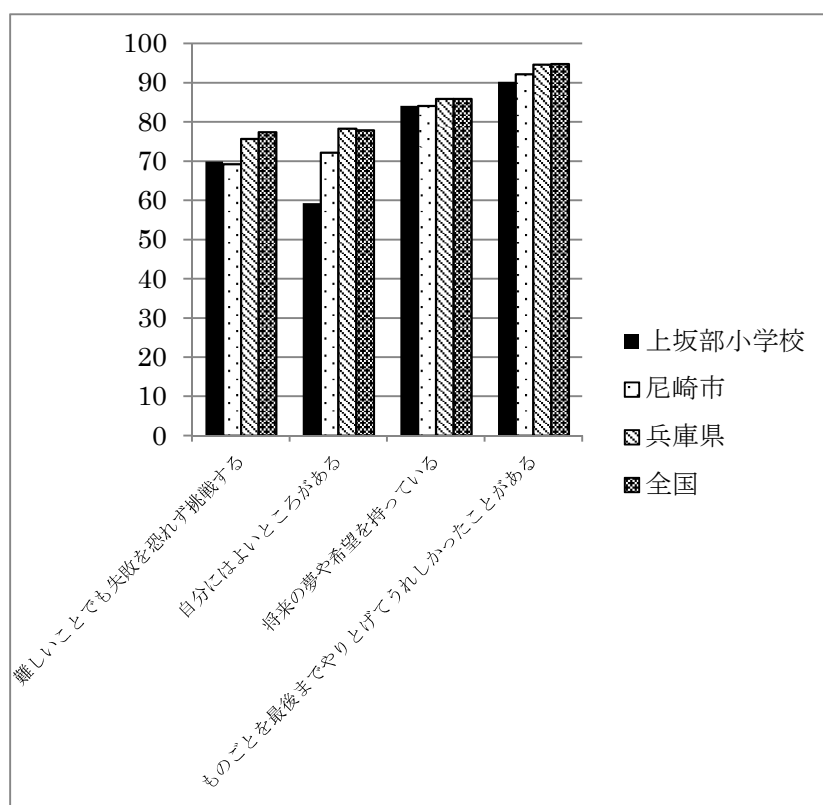
平日の時間の過ごし方



平日の放課後の時間の使い方について、テレビゲーム、スマホやインターネットなど全国よりも高い値で時間を使っていることが分かります。読書についても全国に比べて低く、特にテレビゲームやスマホなどに少し時間を費やしすぎる傾向にあるといえます。特に時間の使い方については、約束を決めて時間を守るなど家庭での過ごし方を考えていかなければいけないと思います。



自己評価などについて（「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」を合わせた割合です）



自己に対しては、「難しいことに失敗を恐れず挑戦する」ことは全国よりも低く、「自分には良いところがある」という項目についても低くなっています。全国平均よりも自分に対する自信のなさが見られました。将来については夢や希望をもっていることや、達成感においても全国よりも下回っています。自分のよさを認められるような仲間づくりやクラスづくりをすることや、達成感が得られるような体験や行事などを生かして、失敗を恐れずに取り組める環境を作っていくこと

などをして、自分のよさを高められ、自信をつけていく必要があると考えられます。

全体を通して

全体から言えることは学力においては国語においては、全国よりも高い値を示していることは、校内での研究の成果が表れたといえます。しかしながら、算数において図形や数量関係、思考力、活用力が課題であるといえます。算数では少人数やT T（複数指導）を取り入れるだけでなく、指導方法の工夫も必要であると思います。また、学習意欲を高めていくためには、主体的な学び・対話的な学びを取り入れた授業の改善により、内発的な動機付けを高められるような授業作りに力を入れていきたいと考えています。さらに生活習慣や時間の使い方などについては、しっかりと学習計画を立てて、規則正しい生活を習慣化し、約束を守ったり、時間を決めたりすることでその分の時間を学習の時間にまわせるのではないかと思います。学校においてもさらに学習の計画を立てて、自主学習を中心にして、自ら進んで学習できるような環境を作り、家庭学習の習慣化ができるように取り組んで行きたいと思います。ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

